

⑫ 公開特許公報 (A)

平1-211285

⑤Int.Cl.

G 11 B 23/00
7/24

識別記号

府内整理番号

A-7436-5D
Z-8421-5D

⑬公開 平成1年(1989)8月24日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全5頁)

⑭発明の名称 追記型光ディスク用廃棄処理材

⑮特願 昭63-32827

⑯出願 昭63(1988)2月17日

⑰発明者 廣重 栄一 福岡県田川郡方城町大字伊方4680番地 九州日立マクセル
株式会社内⑰発明者 長尾 正 福岡県田川郡方城町大字伊方4680番地 九州日立マクセル
株式会社内⑰出願人 九州日立マクセル株式
会社 福岡県田川郡方城町大字伊方4680番地

⑰代理人 弁理士 武頭次郎

明細書

1. 発明の名称

追記型光ディスク用廃棄処理材

2. 特許請求の範囲

光ディスクの信号読み出し面を溶解または変質させることができ可能な薬剤と、可撓性を有するベース材と、該ベース材に前記薬剤を保持する手段とを具備することを特徴とする追記型光ディスク用廃棄処理材。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は、使用済みの追記型光ディスクの読み取りが行なえなくなるようにして再使用の防止を可能にした追記型光ディスク用廃棄処理材に関するもの。

(従来の技術)

コンピュータの外部記憶装置には、従来、磁気テープ、磁気ディスク等の磁気記録媒体が主として用いられてきたが、近年、高密度大容量化が可能で保存寿命が長く且つ磁気の影響を受けない光

ディスクが注目されている。

光ディスクは、再生専用型、追記型及び書き換え型の3種に大別できる。これらの中で追記型は、一度だけ書き込みが可能で消去が不可能な構造を有するものであるが、例えば銀行業務等に需要がある見込まれている。

第12図および第13図は追記型光ディスクの一例を示す断面図およびピット形成部の詳細を示す拡大断面図である。

この種の追記型光ディスクは、トラッキング信号に対応するグループ(案内手段)及びアドレス信号に対応するプレビット(例えば、凹み)がはじめ形成されており、これらの信号をレーザビーム等を用いた光学的手段によって読み出しつつ情報信号を記録する構成が通常とられている。

第12図、第13図に示すようにディスク基板21の片面に三角溝状のグループ22が螺旋状に形成されており、該グループ22上にグループ22よりも深い矩形溝状のプレビット23が配設されている。そして、上記ディスク基板21の上記グ

ループ 22 及びプレビット 23 の形成面に記録層 24 が形成されて、1枚の記録媒体が構成される。さらに、この光情報記録ディスクにおいては、上記記録層 24 を内向きにし、かつこれら記録層 24, 24 の間に空隙 25 が形成されるようにして、2枚のディスク基板 21, 21 の内周部及び外周部が接合されている。

上記の光情報記録ディスクにおいては、上記グループ 22 に沿つて記録用放射線ビームを照射することによつて、第13図に示すように、グループ 22 の裏側に記録ビット 26 が開設される。また、上記のようにして記録ビット 26 が開設された記録済みディスク 27 のグループ 22 に沿つて再生用放射線ビームを照射することによつて、情報信号を読み出すことができる。また、光情報記録ディスクを反転することによつて、即ち、放射線ビーム入射側を入り換えることによつて、2つの記録層 24, 24 に情報を記録することができる。

ところで、記録がなされておりならが廃棄処分

にされた追記型光ディスクは、記録内容を消去することができないため、原型を止どめた状態のまま処分した場合には第3者の手に渡つて悪用される等の恐れがある。このため、従来においては、ディスク使用者が廃棄時に切断機等を用いて切断し、再使用を不可能にし、未然に事故等の防止を図つている。

(発明が解決しようとする課題)

しかし、追記型光ディスクに対する従来の再使用防止手段は、ディスクの切断のために大型の切断装置を用いる必要がある。このため、設置スペースを取られると共に切断装置等の購入のために相当な費用を負担せねばならない不都合がある。

本発明は、上記従来技術の実情に鑑みてなされたもので、簡単かつ小型な構成によりディスクの再使用防止を可能にする追記型光ディスク用廃棄処理材を提供することを目的とする。

(課題を解決するための手段)

上記目的を達成するために本発明は、ディスク表面を溶解又は変質可能な薬剤をベース材に保持

させるようにしたものである。

(作用)

本発明によれば、ベース材に保持された薬剤はディスク表面に接触することにより、ディスク表面を溶解または変質させ、ディスク表面を例えば不透明にし、読取用ビーム光の通過を妨げ、データの読み出しを防止することができる。

(実施例)

以下、本発明の一実施例を図面に基づいて説明する。

第1図は本発明の一実施例を示す斜視図であり、第2図は第1図II-Ⅱ矢視断面における分解組立図である。

第1図及び第2図に示すように、ポリエチレン等の耐水性の材料を用いたベース材1の周縁に両面粘着テープ2が連続的に粘着されている。この両面粘着テープ2で囲繞されたスペース内にポリエチレンシート3を包皮とするゲル状溶剤4が充填されている。ゲル状液剤4は廃棄対象の追記型光ディスクの読み出し面(ポリカーボネート樹脂、

エボキシ樹脂等の材料が用いられる)に付着した際に、その表面が白濁化するように溶解または変質させうる溶液をゲル化させたものである。

ポリエチレンシート3は、封入したゲル状溶剤4が通常時には密封された状態にあり、使用時(ゲル状溶剤4を廃棄対象ディスクに圧接させた状態)に滲出するようにベース材1に固着されている。このために、例えば、固着面に溝を設け、或いは加圧時にのみ滲出可能な微細な穴、さらには加圧によつて破碎する構造等をポリエチレンシート3に施している。

このポリエチレンシート3を覆うようにし、且つ剥離可能に剥離紙5が両面粘着テープ2に貼着されている。なお、6はベース材1の一辺に突設されている指摘み部であり、後述するディスク廃棄処理の作業を容易にすることができる。

次に、以上の構成による廃棄処理材の使用法について説明する。

第1図の如くに構成された廃棄処理材10は、剥離紙5を両面粘着テープ2より剥がし、指摘み

部6を持つて第3図のように廃棄対象の追記型光ディスク20の表面に貼着する(ベース材1が表になる状態に貼着する)。次に、ベース材1の中央部を押圧することにより、ゲル状液剤4がポリエチレンシート3外に滲出し、滲出した液剤4は追記型光ディスク20の表面に接触し、その接触面を溶解させ、白濁化する。したがつて廃棄処理材10を剥がしても、その表面が不透明に変化しているため、データを読み出そうとしても、読み取用のビーム光が遮断あるいは乱反射され、データが読み取られることは無い。

廃棄処理材10は、廃棄処理効果を確実にするために、第3図に示すように複数を用いるのが好ましい。

なお、以上の実施例においては、剥離紙5がベース材1と同一サイズの単独紙としたが、廃棄処理材10を頻繁に用いる場合には、使い勝手及び保管の便を考えた第4図の如き構成が適している。

すなわち、帯状の剥離紙7に部材2~4を接着したベース材1を連続的に貼着し、この剥離紙7

をリール8に巻回して構成される。使用に際しては、剥離紙7よりベース材1側を指摘み部6を持ち上げるようにして剥離する。剥離枚数が増えるにつれて剥離紙7の使用済み部分が多くなるが、適宜ハサミ等によつて切断除去すればよい。

また、廃棄処理材10は、四角形状の例を示したが、第5図~第7図に示すような形状にしてもよい。第5図は円形の例、第6図はディスクのデータ列半径に合せた形状、第7図は扇形にし半径方向の所定領域に同時に貼着できるようにした形状を各々示している。

さらに、第8図に示すように、ベース材1の表面に廃棄処理を行なつたものであることを取扱者及び第3者に明示できるように、廃棄対象ディスクであることを意味する語句を記載したステッカ9を貼着し、或いは印刷を施すこともできる。

第9図は本発明の他の実施例を示す斜視図、第10図は第9図のX-X矢視断面図である。

第9図及び第10図に示すように、テープ状のポリエチレン等によるベース材11の片面の両側

縁に2条の両面接着テープ12が貼られ、この両面接着テープ12間にゲル状溶剤13を均一な厚みに塗布し、これをセロハンテープのように巻回して廃棄処理材15が構成される。ベース材11及び両面接着テープ12には、一定の長さ毎にミシン目14が入れられており、所望の長さにおいて切断できるようにされている。ゲル状溶剤13は、所定の粘度を有しているため、切口部から流出する恐れは無い。また、ベース材11より露出するゲル状溶剤13の面積は極めて小さいため、溶剤が空気に触れて固化するのはわずかであり、長時間放置しても次の廃棄処理に影響を与えることは無い。

次に、第9図の実施例の使用法について説明する。

第11図に示すように、廃棄対象の追記型光ディスク20の表面に、巻回された本体部より引き出した廃棄処理材15を必要な長さだけ貼着し、ミシン目14よりカットする。貼着された廃棄処理材15の表面をディスク面へ押圧したのち、デ

ィスク面より剥がすことにより、前記実施例と同様に溶剤接触面が溶解し、ディスク表面を不透明状態にする。したがつて、記録されているデータの読み出しはできず、再使用される恐れはない。

本実施例は、ゲル状溶剤13を連続に所望の長さにディスク面に密着させることができるために、CD(コンパクトディスク)等の径の異なるものにも用いることができる。

なお、いずれの実施例もディスクの一部を不透明化し、ディスク全面に及ぶものでは無いが、読み出し途中に1ヶ所でも読み出し不可能な場所があれば、読み出装置はエラー状態になり、読み出しが不可能になるので問題は無い。

また、薬剤としてゲル状溶剤の例を示したが、このほか、布等に含浸させ、或いは破碎が容易な材料で作られたマイクロカプセル等に封入する等の構成にしてもよい。

(発明の効果)

以上説明した通り、本発明によれば、光ディスクの表面を化学的に変化させることのできる薬剤

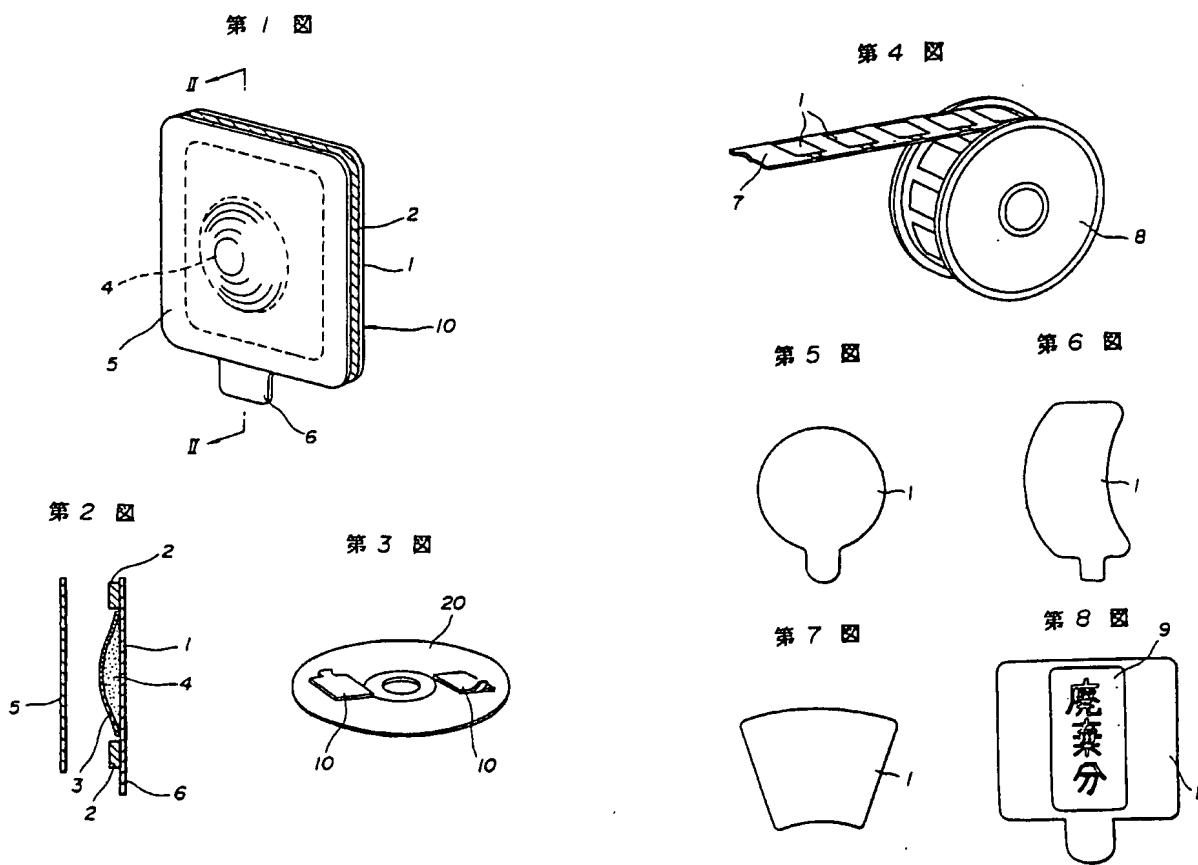
をベース剤に保持させ、この薬剤をディスク表面へ接触させうるようにしたので、追記型光ディスクの再使用の防止、すなわち廃棄処分を簡単な構成によつてローコストに行なうことができる。

4. 図面の簡単な説明

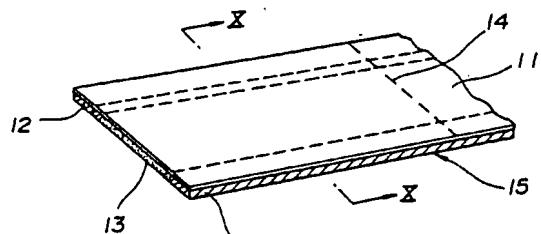
第1図は本発明の一実施例を示す斜視図、第2図は第1図の実施例のII-II矢視断面における分解組立図、第3図は第1図の実施例の使用状態を示す斜視図、第4図は第1図の実施例の変形例を示す斜視図、第5図～第7図は本発明に係る廃棄処理材の他の形状例を示す平面図、第8図は第1図の実施例に廃棄処分の明示する語句を付加した例を示す平面図、第9図は本発明の他の実施例を示す斜視図、第10図は第9図の実施例のX-X矢視断面図、第11図は第9図の実施例の使用状態を示す斜視図、第12図は追記型光ディスクの一例を示す断面図、第13図は第12図のディスクのピット形成部の詳細を示す拡大断面図である。

1, 11 ……ベース材、2, 12 ……両面粘着テープ、3 ……ポリエチレンシート、4, 13 …

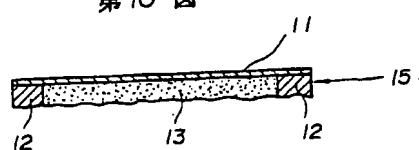
代理人 弁理士 武 頭次郎



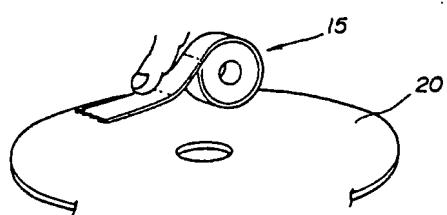
第9図



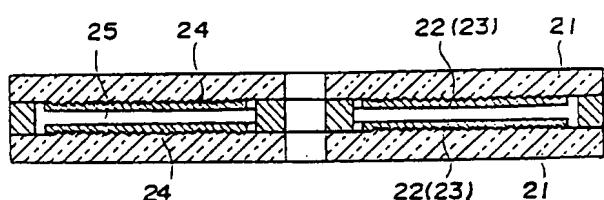
第10図



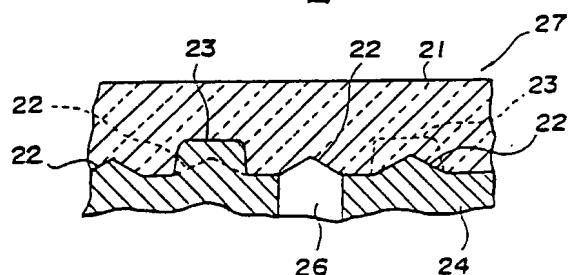
第11図



第12図



第13図



DERWENT-ACC-NO: 1989-288759
DERWENT-WEEK: 198940
COPYRIGHT 1999 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Waste treating material - has chemical agents making optical disk surfaces cloudy, and is used for treating write-once optical disks

PATENT-ASSIGNEE: KYUSHU HITACHI MAXELL KK[HITM]

PRIORITY-DATA: 1988JP-0032827 (February 17, 1988)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE	PAGES	MAIN-IPC
JP 01211285 A	August 24, 1989	N/A	005	N/A

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO	APPL-DATE
JP01211285A	N/A	1988JP-0032827	February 17, 1988

INT-CL_(IPC): G11B007/24; G11B023/00

ABSTRACTED-PUB-NO: JP01211285A

BASIC-ABSTRACT: The waste treating material consists of chemical agent(s) for dissolving or deteriorating the reading surface of optical disks, flexible base material, and material for holding the chemical agent(s) in the base material.

USE/ADVANTAGE - For preventing optical disks from being reused by using simple and compact material. The chemical agents, when brought into contact with a disk surface, make the disk surface opaque. Reading of data from the disk therefore becomes impossible.

CHOSEN-DRAWING: Dwg.1/13

TITLE-TERMS:

WASTE TREAT MATERIAL CHEMICAL AGENT OPTICAL DISC SURFACE CLOUD TREAT WRITING OPTICAL DISC

DERWENT-CLASS: A89 G06 L03 T03 W04

CPI-CODES: A11-C; A11-C07; A12-L03C; G06-D07; G06-E; L03-G04B;

EPI-CODES: T03-B01; T03-N01; W04-C01;

POLYMER-MULTIPUNCH-CODES-AND-KEY-SERIALS:

Key Serials: 0229 2378 2404 2628 2841 2851

Multipunch Codes: 014 03- 426 427 551 560 566 634 649 726

SECONDARY-ACC-NO:

CPI Secondary Accession Numbers: C1989-127726

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N1989-220287

CLIPPEDIMAGE= JP401211285A

PAT-NO: JP401211285A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 01211285 A

TITLE: REJECTION PROCESSING MATERIAL FOR DRAW TYPE OPTICAL DISK

PUBN-DATE: August 24, 1989

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

HIROSHIGE, EIICHI

NAGAO, TADASHI

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
KYUSHU HITACHI MAXELL LTD	N/A

APPL-NO: JP63032827

APPL-DATE: February 17, 1988

INT-CL_(IPC): G11B023/00; G11B007/24

US-CL-CURRENT: 369/100

ABSTRACT:

PURPOSE: To prevent the reproductive use of an optical disk with simple and small composition by holding a drug to chemically change the surface of the optical disk in a base material and contacting the drug on the surface of the disk.

CONSTITUTION: A released paper 5 of a rejection processing material 10 is peeled off from a pressure sensitive adhesive double coated tape 2, a lug part 6 is held, and the material 10 is adhered to the surface of a draw type optical disk 20 as the object of the rejection. Next, a gel type liquid drug 4 exudes to the outside of a polyethylene sheet 3 by pressing the central part of a base material 1, the exuded liquid drug 4 contacts on the surface of the disk 20, dissolves the contacted surface, and makes the surface into a white turbid state. Consequently, data are never read even when the rejection processing drug 10 is peeled off.

COPYRIGHT: (C)1989,JPO&Japio